

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎し尿一般の経費

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 深沢クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) 深沢クリーンセンター管理運営事業

・ 深沢クリーンセンターでのし尿の処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,088	15,276	13,410		1,866
主な支出内訳				
・ 深沢クリーンセンター管理運営事業				
電気料				4,229
水道料				2,417
汚泥処理棟南側外壁塗裝修繕料				2,048
事務所棟污水管修繕料				1,145
警備業務委託料				655
窓ガラス等清掃業務委託料				66
ファクシミリ付複写機保守点検委託料				39
植木剪定業務委託料				497
下水道負担金				1,532

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門 <b>環境-24 深沢クリーンセンター管理運営事業</b>						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	575 施設維持管理業務1					
主管課	深沢クリーンセンター	関連課	資源循環課・環境施設課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	環境衛生保持のため、し尿及び浄化槽汚泥等を受入れ、適正に処理する。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	13,410千円	13,986千円	15,651千円			
	(国・県)						
	(負担金等)	34千円	33千円				
	(一般財源)	13,376千円	13,953千円	15,651千円			
	人員配置数	1.1人	1.1人	1.1人			
	人 件 費	9,666千円	9,817千円	9,823千円			
協働の パートナー	委託・許可業者	委託・許可業者	委託・許可業者	委託・許可業者			
事務事業 運営経費	総事業費	23,076千円	23,803千円	25,474千円			
	市民1人当 りの経費	131円	135円	146円			
	対象者1人 当りの経費	—	—	—			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
電気使用量の削減	◎	目標値	289,800kwh	277,200kwh	264,600kwh	251,400kwh	238,900kwh
		実績値	261,840kwh	251,688kwh			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
水道使用量の削減	◎	目標値	4,200m <sup>3</sup>	4,000m <sup>3</sup>	3,800m <sup>3</sup>	3,700m <sup>3</sup>	3,600m <sup>3</sup>
		実績値	3,476m <sup>3</sup>	2,969m <sup>3</sup>			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 深沢クリーンセンターは、建設後、24年が経過し、処理建屋の老朽化が進んでおり、適正な維持管理のための、維持修繕を行っていく必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 老朽化した処理建屋の修繕順序を決め、一部の維持修繕を実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) なし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後も、処理建屋の計画的に維持修繕を実施していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	し尿の下水道放流を行う重要な施設であることから、現状の施設機能を維持していきます。				
担当課長氏名:		深沢クリーンセンター所長 原山 博			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	廃棄物処理施設整備の将来計画を見極めながら、安定したし尿の下水道放流を継続するための適正な維持管理に努めていきます。				
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋		